

生産情報の自動収集機能を拡大強化し、 業務のリアルタイム管理を図った。

A社様では、これまでの生産情報収集システムの能力不足と、取引先からの納入部品に関する生産履歴の記録保持要望に応えるため、根本的に新しい生産管理システムを導入する必要が生じました。システム開発では、データの自動蓄積が可能な「WebFINDER Provider」を利用し、自動収集された生産情報から材料発注・生産・在庫・出荷管理をリアルタイムに処理する機能を構築し、新システムとして2005年12月に運用を開始しました。



<生産管理課担当者様より>

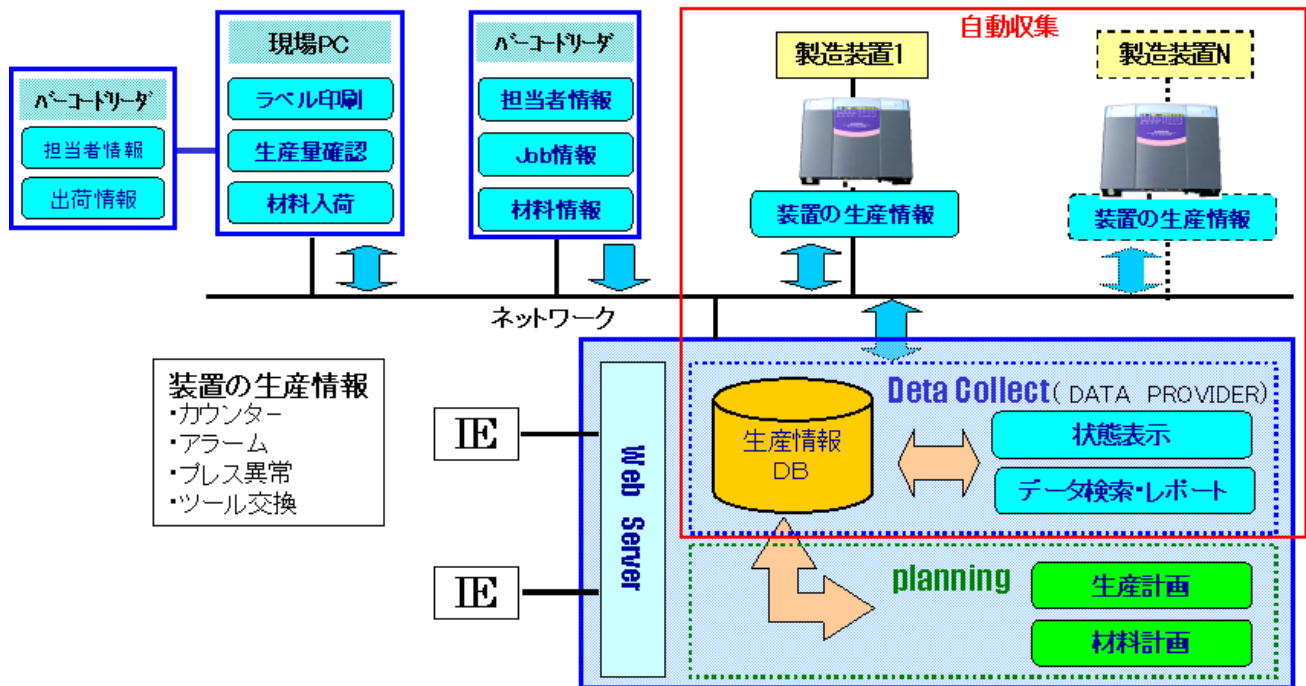
これまでの生産管理ではシステムからの情報量が少なく、補助用にエクセルで多種の管理表を作っていました。新システムでは生産量、在庫などの必要な情報がリアルタイムにかつ必要な形で得ることができるようになりました。

<経理ご担当者様から>

新しいシステムにより、原価計算に必要なデータが正確かつタイムリーに入手できるようになりました。

システム概要

システムでは、生産情報を自動的に収集し業務の効率化を図っています。



- | | |
|---------|-----------------------|
| ① 工程の管理 | ●作業指示番号毎に工程管理が可能 |
| ② 日報の管理 | ●工程別の進捗管理が可能 |
| | ●作業指示番号毎のデータをサーバで一括管理 |
| | ●収集した生産情報が原価計算システムに連携 |